安曇野

発行所
穂高神社社務所
創刊　昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話　0263-82-2003
FAX　0263-82-8770

交通安全祈願
車を買ったら穂高神社

境内御社　菅原社



穂高神社拝殿の北側に、学問の神様として広く崇敬を集めております天神様（菅原社・歌神社・八王子神社）の御社があります。令和六年の秋ころに損傷や腐敗のあった御社の周りの柵を由来のある村山医院様の奉納によって新しく造り直し、御社の南側に合格幟立て場を新設しました。

◆菅原社

享保七年（一七二二年）壬寅秋、村山喜兵衛清政氏が文道の祖天神さまを穂高神社境内に勧請し代々祭儀を厳修しました。この処を天神原と呼び氏子崇敬者に親しまれました。

菅原社は天神様である菅原道真公を祀り、書道、詩歌、雷除、学問の神様であることから、毎年受験を控えた多くの学生が参拝しています。

◆菅原道真公について

菅原道真公は、幼少の頃より学業に励み、和歌や漢詩などに優れた才能を持っていました。学者出身の政治家として卓越した手腕を発揮し出世しますが、如藤原氏の策謀により、九州に左遷されます。そして、そのわずか二年後、大宰府の配所にて悲しみの内に波乱の生涯を閉じられました。

現在、全国各地には天神様をおまつりした御社がおよそ一万二千社あり、広く信仰されています。

心だに　まことの道に　叶ひなば
祈らずとても　神や守らん
（道真公）

◇歌神社　御祭神
柿本人麿大人
◇菅原社　御祭神
菅原道真命
◇八王子神社　御祭神
五男三女の神
☆例祭日
四月二十四日宵祭
二十五日本祭



令和七年度穂高神社歳時記（一月から六月）

一月　一日　新春一番祈祷・歳旦祭、聖寿万歳
氏子・崇敬者安全祈願
一日～八日　聖寿万歳・天下泰平祈願祭
新春祈願交通安全祈願大祭
十一日～十三日　厄除・八方除特別祈祷祭
二月　二日　節分祭　竈神祭
三月　一七日　祈年祭、奉射祭（特別神事）
十八日　翌日祭
二十三日　秋葉社　宵祭
二十四日　秋葉社　本祭
三十一日　勧学祭
四月　八日　末社祭（子安社、若宮社、事比羅社、保食社、四神社）
十二日　諏訪社祭
十七日　厳島社例祭　宵祭
十八日　厳島社例祭　本祭・道祖神祭
十九日　穂高霊社例祭　宵祭
二十日　穂高霊社例祭　本祭（平和祈願祭）
二十四日　菅原社宵祭
二十五日　菅原社本祭
二十七日　上高地開山祭
五月　二日　わさび御料圃祭（靖国神社神職奉仕）
六月　三十日　大祓式（悪事災難除け祈願）

氏神さま、氏子について

氏神さまとは自らの住む土地をお守りくださる神様のことで、その土地の暮しや生業を営む人達を氏子と言います。いつの時代にもこの土地に住む人々の生活や未来にわたる安寧を願う心が神の心と共に守ってくれています。日頃から氏神さまとのご縁を大切にいたしましょう。安曇野市穂高、等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区の氏神さまは穂高神社となります。

インスタグラム　ホームページ

竈神祭（こうじんさい・かまどがみのまつり）

竈神祭は竈の神に感謝し火の災いが起きないように祈念するお祭りです。

竈神の具体的な御神名は、古事記に大年神の子として「奥津日子神（おきつひこのかみ）、つぎに奥津比売命（おくつひめのみこと）、またの名は大戸比売神（おおべひめのかみ）。此は諸人のもち拝（いつ）く竈神なり」とあるように、奥津日子神・奥津比売命の二柱の神に火産霊神（ほむすびのかみ）【火之迦具土神（かぐつちのかみ）とも言う】を合わせた三神が竈神とされています。

竈神は、荒神（こうじん）・三宝荒神など様々な呼称があり、家庭では主に火を扱う場所にお祀りされる神さまです。食物の煮炊きに用いられる竈（かまど）は、通常一軒に一ヵ所であったため、竈はその家を象徴するものと考えられました。分家することを「竈をわける」などというのも、こうしたことによるものです。

竈神は一般には火伏の神や火の守護神であると同時に，食物や農耕の神としての性格や，その家の富や生命など生活全般を司る神としての性格も持ち，広く信仰されています。これも、竈が家の象徴とされていたことに由来します。

竈神の神札は屋内の場合、台所などに神棚を設けて、お神札や幣串（へいぐし）を納めて祀りします。



竈神様

奉射祭（おびしゃ）

三月十七日（日）午後三時～

限定御朱印も頒布します



初穂料
５００円

奉射祭とは、本格的な春を告げる祭りとして矢を放って邪気を追い払い、天下泰平、家内安全、五穀豊穣、殖産興業発展を祈願する祭事です。平安時代から朝廷をはじめ全国の大きな神社で行われています。穂高神社も古くから奉射祭が行われてきました。明治十四年までは一月十七日（旧暦）に斎行されていましたが、新暦になってからは三月十七日に行われるようになりました。

祭りの当日は、神楽殿前に直径約一，六メートルの大的を掲げ、拝殿より宮司と禰宜が、白羽の矢を射ります。射る順番は、まず「神の矢を」東北方向に、続いて「殿の矢」を東南方向に放って、四方の邪気を払います。かつてこの「神の矢」は祭典後、御本殿に奉納され、「殿の矢」は、松本藩城主に納められました。弓の長さは一，六メートルの桑棒が用いられます。続いて、鷹の羽で作られた鏑矢十二本を宮司以下神職が次々と大的に射ります。十二本は一年の十二か月を表し、的中結果により月々の天候、豊凶を占う意味をもっています。奉射が終わると、大的を壊し、破片や矢を家に持ち帰って神棚にあげることで、魔除けや農作物の豊作を祈願します。

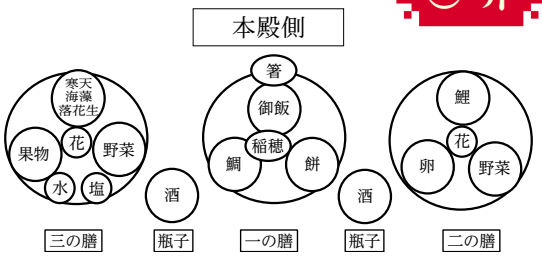






穂高神社社宝紹介
鷺足膳（さぎあしぜん）





穂髙神社には、大祭（例祭〈お船祭〉・奉射祭・新春祈願大祭・御遷宮）の時に使う鷺足膳という、当社だけに伝わるお供えの台があります。

鷺足膳は円形の盤と三本の足の間を持送り（もちおくり）という盤を支える構法でつないだ形をしています。足が長く、湾曲しており鷺の足のように見えることが名前の由来となっています。五台を通じて盤の直径は一尺五寸（四五、五㎝）余り、足を含む高さは一尺七分（三二、四㎝）程の大きさです。盤の内面は朱、その他の大部分は黒漆塗りで、持送りの表を金色、足の面を朱色とし、盤の縁に不整形大型の金箔を散らし、盤の底面に「鷺足膳元亀四年葵酉二月吉日（一五七三年）」と願主の銘文を朱書きしてあります。

五台のうち三台は現在も大祭に使われていて、お供えするときには右の図のような普段のお供えとは違った並べ方をしています。

平成二十年には安曇野市有形文化財に指定され、大祭で使っていない二台がお船会館に展示されています。

第三十七回「秘めたる穂高の工芸作家二十人展」

元旦より三日まで穂髙神社参集殿にて第三十七回「秘めたる穂高の工芸作家二十人展」が開かれました。各分野で活躍する約二十人の作品が並び、来られた方を魅了しました。また、今回出展いただきました、陶芸家の筒井廣明先生とガラス作家の原田哲治先生に、作品についての説明を頂いておりますので紹介します。

■原田先生作品紹介



○iris（誕生）
irisはギリシャ神話の虹の女神。空と海を司る神をコンセプトとしたシリーズ。
虹の卵から7色の気泡が生まれる様。カットガラス。



○iris（渦）
irisはギリシャ神話の虹の女神。空と海を司る神をコンセプトとしたシリーズ。
虹の7色が天に登る様

原田哲治先生プロフィール

一九七一年　長野県安曇野市に生まれる。
十八歳からガラスの世界に飛び込み、イタリア・ベネチアに次ぐガラス王国である、スウェーデンの王室御用達の工房で厳しい修行をする。
北欧のガラステクニックをはじめ グラール技法、アリエル技法 の数少ない継承者。
主に作品制作に力を入れて活動中。

■筒井廣明先生作品紹介



○青白磁大皿「凪」
皿の面に掘った文様は、穏やかな凪をイメージしました。径五十㎝に及ぶ大皿を作成するのは大変な労力です。きれいな青白色が出て、全体的に大海原を思わせるような作品になりました。



○青白磁彫文壺
渦を巻いたような文様は自分でも面白いなと気に入っています。壺に文様を施し全体に青白釉をかけて仕上げました。このまま飾って頂くのもよし、様々な花を行けて頂くのもよし、程よいサイズの壺となりました。



○青白磁手鞠文七角鉢五客揃
この作品は七角形をしています。七角形の石膏型を用いて成形しました。上から見ますと手鞠の文様のように見えることから手鞠文と名付けました。できる限り薄く作りました。青白色は盛るものを引き立ててくれます。煮物・お漬物、何でもこの鉢に盛り付ければ、美味しくいただくことができると思います。

筒井廣明先生プロフィール

一九五一年　長野県大町市に生まれる。石川県小松市にて九谷焼の修練を積んだ後、京都に移り清水卯一・川瀬満之に師事した。一九七八年日本最大の工芸展である日本工芸展に初入選、以後二十四度入選、一九八五年には朝日新聞賞を受賞、二〇〇〇年には作品を伊勢神宮に奉納した。二〇一三年十四年にはニューヨークの大西ギャラリーに出品、LACM美術館に収蔵されるなど日本のみならず世界で活躍し、高島屋・三越などで数多くの古典を開催している。

御祈祷のご案内

穂高神社では皆様のお願い事を神様にお伝えする御祈祷を毎日行っております。

一、期　間　午前九時～午後四時半

一、内　容　交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、職場安全、厄除、八方除、合格祈願、学業成就、病気平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産、初宮参り、初誕生祝い、災難除、子授成就、良縁、お礼参り、人形供養、もののけ祓い、ペット長寿祈願、他願い事。

一、御祈祷料

五、〇〇〇円・七、〇〇〇円・一〇、〇〇〇円

※御祈祷料の違いですが御祈祷内容は一緒で料金の違いによりお渡しするお札の大きさなどが異なります。

※交通安全祈祷は二台目から三、〇〇〇円となります。

安産祈願（戌（いぬ）の日）

二月	十日・二十二日	三月	六日・十八日・三十日
四月	十一日・二十三日	五月	五日・十七日・二十九日
六月	十日・二十二日	七月	四日・十六日・二十八日
八月	九日・二十一日	九月	二日・十四日・二十六日
十月	八日・二十一日	十一月	一日・十三日・二十五日
十二月	七日・十九日・三十一日		

※示した日以外でも毎日祈祷を行っております

●郵送祈祷のご案内

遠方にお住まいの方や様々なご事情により御参拝が叶わず御祈祷を受けられない方々のために郵送等による御祈祷を承っております。ＨＰの郵送祈祷をご覧いただくかお電話でお申し込みください。

神様に願いを届けよう　おねがいごとのご案内

お願い事や誓い事、神さまへの感謝を書いていただきお納めください。

祈願文は翌朝の日供祭（神様の食事をお供えし祝詞を捧げる）で神前に捧げ、お取次ぎをいたします。

おねがいごと例

・家族が元気で健康でいられますように

などご自身のお好きな事を書いていただいて構いません。

※おねがいごとの内容は公表致しません

●設置場所　拝殿（お参りするところ）北側（常時設置）

勧学祭（入学祝い）のご案内

この春小学校に入学される児童の学業成就と健やかな成長、また通学路の安全・安心を願う勧学祭を行います。

ご参列の入学児童には学業成就のお守り・お菓子をお授けいたしますので、ご参列下さいますようご案内申し上げます。

期日　令和七年三月三十日（日）午前十時より参列自由（無料）です　九時五十分に神社拝殿にお越しください



ランドセルのお祓いをしますのでランドセルを背負って集合してください。

●浦安の舞「舞姫募集」

子供祭、御船祭に浦安の舞を奉納します。

【奉納日】子供祭：九月六日(土)、七日(日)

御船祭：九月二十六日(金)、二十七日(土)

※夏休みを中心に十回程度練習します。

【募集人員】

氏子地区内（等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区）在住の小学四年生から六年生十名程

定員になり次第締め切らせていただきます。

六月三十日までに社務所にお越しいただくか、お電話にてお申し込み下さい。



ご参拝おみやげ

御神米



600円

あんころもち



1,000円

穂高神社参集殿にて販売しております

平日は販売していない日がありますのでお問合せください

神々の縁に抱かれて

穂高神社本宮

上高地　奥宮　**結婚式承ります**

年祭・直会（ご会食）承ります

お持ちいただくのは御霊代と御遺影のみです

◆直会のみ、お料理をご自宅へ配達、お持ち帰り用の「折弁当」もご用意できます

◇神葬祭も行えます。

お料理の予算等お気軽にご相談ください

イベントなどの会場使用もできます

【ご予約・お問合せ】

0263-82－0118

穂高神社参集殿

なごみてい

和美庭